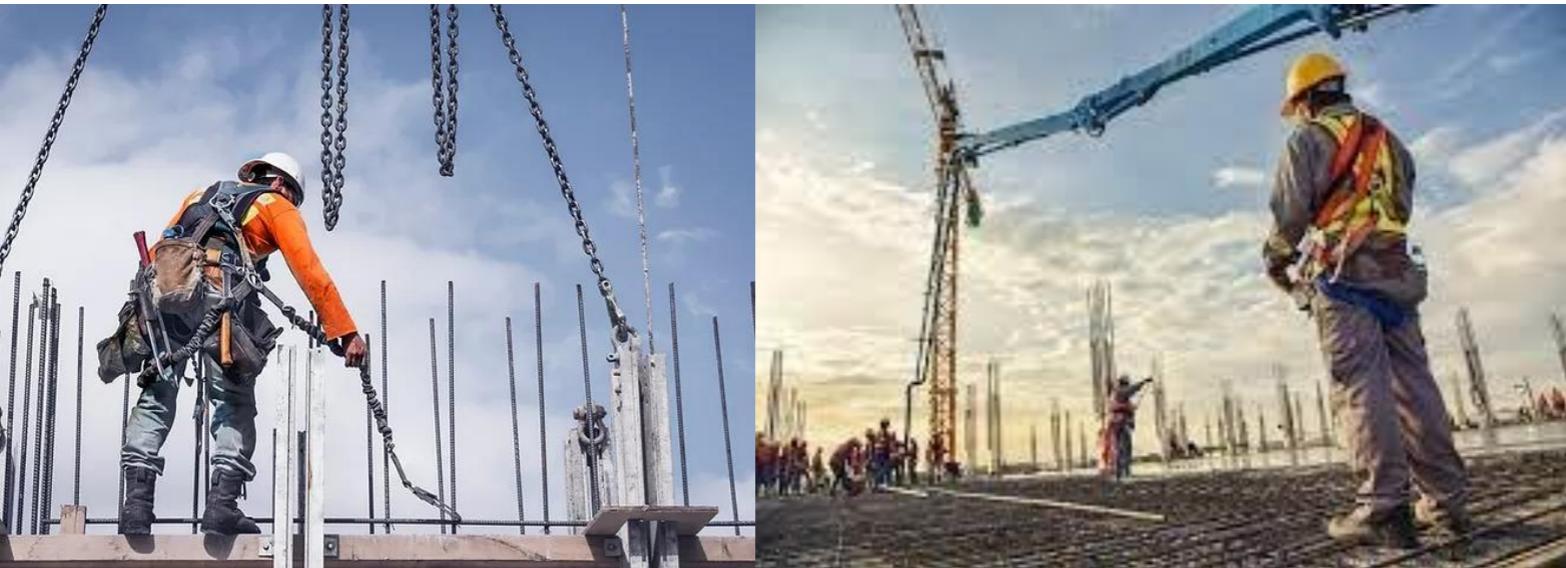


PT. OS Selnajaya Indonesia

『建設』分野の送出し事業紹介

～インドネシアから日本に力を～



Menara Astra, 55th Floor Jl. Jenderal Sudirman
Kav 5-6 Jakarta 10220

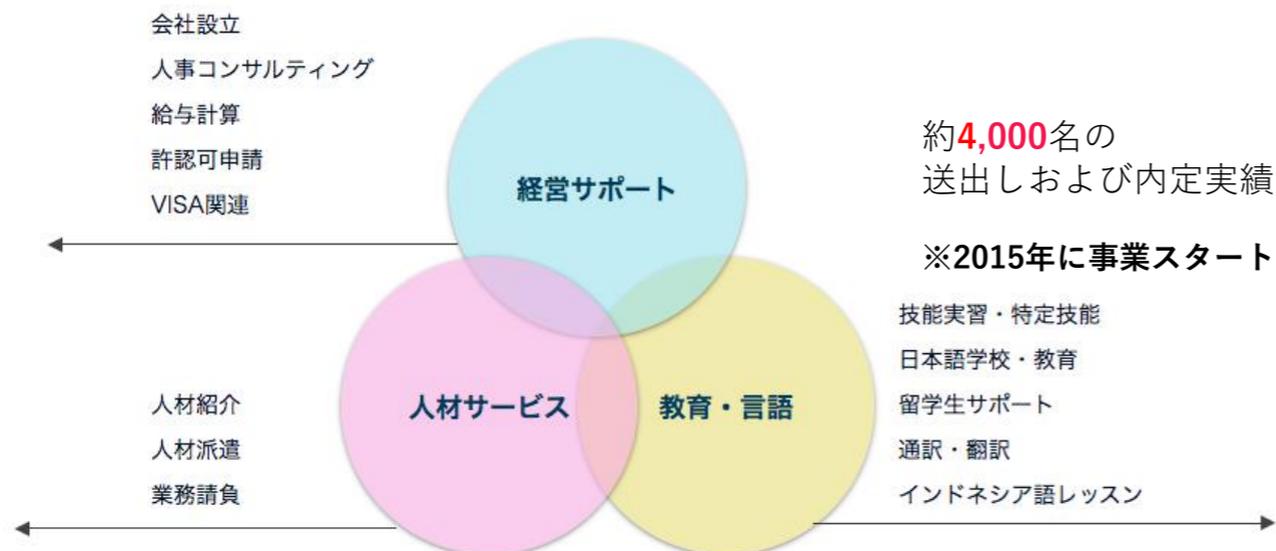


会社概要	03
インドネシアの建設事情について	04
当社の送り出す建設人財	05
当社の送り出しフロー全体図	06
リクルート提携先学校のご紹介	07
日本語教育のご紹介	08
特別体カトレーニング	09

※2022年9月末現在

会社名	PT. OS Selnajaya Indonesia
所在地	Menara Astra, 55th Floor Jl. Jenderal Sudirman Kav 5-6 Jakarta 10220
設立	1995年10月
代表者	代表取締役社長 宮島 賢 (SATOSHI MIYAJIMA)
従業員数	【全社員数】 2,340名 (うち、総合職246名) (うち、日本人32名)
企業Website	https://www.os-selnajaya.com/
送出し事業Webサイト	https://www.sojp.os-selnajaya.com/

インドネシア政府認定機関



▼本社及び当社トレーニングセンター紹介

ジャカルタ本社



日系企業が集中する Sudirman地区に、各サービスの中核機能となる本社を設置

1 ポゴール (チレンシ) 研修センター



技能実習・特定技能の弊社メイントレーニングセンター。収容人数は約300名

2 東ジャカルタ (チブプル) 研修センター



介護専門のトレーニングセンター。収容人数は約300名

3 バンドン研修センター



技能実習/エンジニアを中心に教育。収容人数は約150名。

4 マラン (東ジャワ州) 研修センター



地方の若い人材へ、主に特定技能の教育を提供。収容人数は約150名。

5 ポノロゴ (東ジャワ州) 研修センター



地方の若い人材へ、日本語教育を提供。収容人数は約150名。

建設従事者が約450万人いるインドネシア



インドネシアの建設業界について

2045年の建国100周年にGDP世界5位を目指すインドネシアでは、今後さらにインフラ開発が進むとみられ、建設産業は**急速なペースで成長し続ける産業とみられます。**

実際にインドネシア政府は近年、空港、海港、ダム、高速道路、橋、鉄道など、広範囲にインフラ投資しており、今後も大規模な開発が期待されています。

またインドネシアの建設会社の数は非常に多く、2016年に登録された建設会社の合計は**14万社**を超えています。

そのうち大規模・中規模事業者の割合はわずが**10%**ですが、その10%の会社が**建設事業の90%のシェア**を占めています。

▼在インドネシア日系大手ゼネコン・サブコン企業様

(順不同)

大林組、鹿島建設、清水建設、大成建設、竹中工務店、東亜建設工業、東急建設、東洋建設、戸田建設、三井住友建設、等々

インドネシアの建設業の実態

労働者

インドネシアは各地の田舎からの**出稼ぎ労働者が多く**、雇用形態も**日雇い労働**が実態として多い。その為、熟練した職人の確保が難しいとされている。

技術レベル

日系企業を含めた外資企業とのJOプロジェクトを多数実施してきた特に国営の建設会社もかなり力をつけており、ローカル企業のみでも相応のプロジェクトをできるレベルとなってきたが、それ以外の中小の建設会社はまだまだ経験・技術レベルも低く、工期・品質において不完全な状態で引渡しとなることが多々あり、また設計段階から複雑な仕様は避け、シンプルで分かり易い工法とすることが重要視されている。また、職人が不足していることから、労働者の数で解決を図る傾向があり、一人あたりの生産性が課題とされる。また安全や環境に配慮した施工計画への意識はまだまだ欠如している。

**技能実習制度による
日本の技術移転が強く求められている業界です。**

ポテンシャルを秘めた若くて体力のある人財をご紹介します。



OS Selnajayaの建設人財

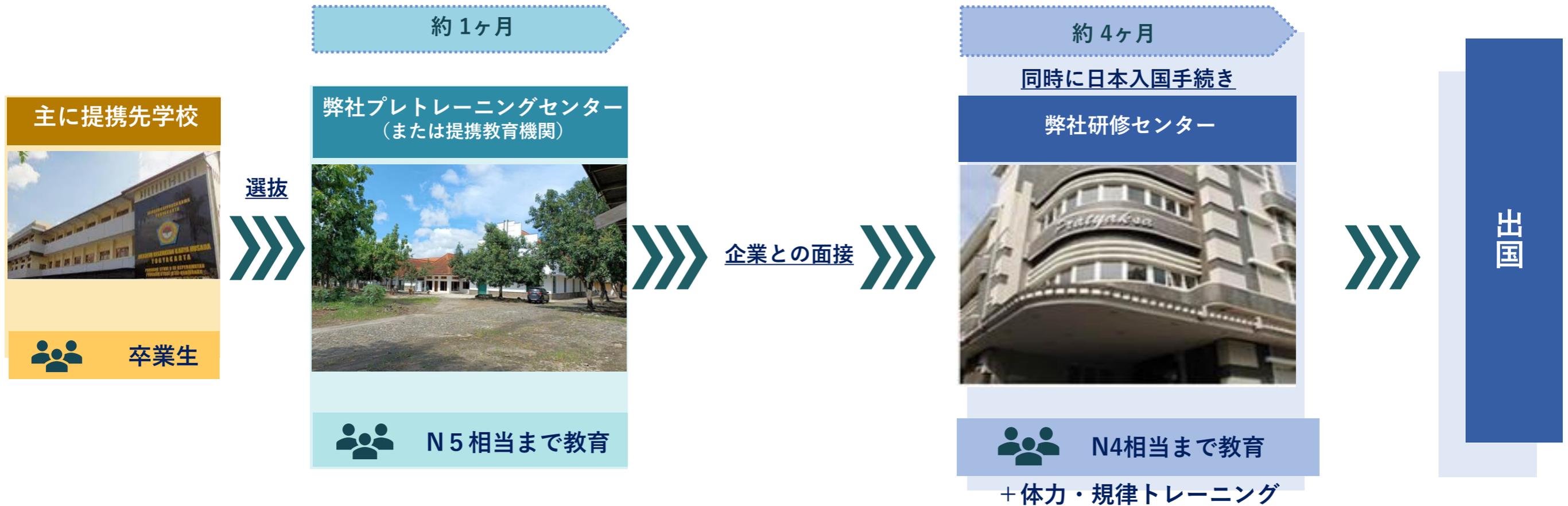
①信頼できるリクルートリソース

最も失踪率が高い建設業において、リクルート元の厳選は非常に重要です。当社は信頼できるリクルートリソースのみ活用しています。

②建設業にマッチしたトレーニング

最もきつい体力トレーニングのメニューを課し、日本で3～5年間仕事を全うできる人財を育成しております。

リクルート - 教育 - 出国 までの全体フロー



求人票をいただいてから面接・内定後、健康診断とドキュメント作成で約2ヶ月半、日本側にドキュメントが渡り入管に申請してから約2ヶ月、その後、インドネシアで日本入国ビザ発給まで約1ヶ月の合計約5ヶ月半～半年とお考え下さい。

提携先学校のご紹介

▼代表的な提携学校例

当社では、多数の建設学科のある専門高校や地方政府と連携して、日本の建設業界で働きたいという意欲の高い若者のリクルートに努めています。

国立ジャカルタポリテクニク



○所在地：ジャカルタ州

○学科：建設工学部土木学科, 建築学科, デザイン工学科, 建設学科 等

○卒業生：約1,900名/年

国立第1ジェナンガン 専門高校



○所在地：東ジャワ州

○学科：建築学科、電気科学、生産設備学科、機械科学 等

○卒業生：約700名/年

国立第2ウォノギリ 専門高校



○所在地：中部ジャワ州

○学科：建築学科、メカトロ学科、機械学科、軽車両学科 等

○卒業生：約600名/年

国立第2ンガウイ 専門高校



○所在地：東部ジャワ州

○学科：建築学科、自動車学科 等

○卒業生：約500名/年

OS Selnajayaの日本語教育

講師在籍数はインドネシア人講師 **80** 名と日本人講師 **7** 名。
 経験豊富な講師陣がポイントを的確に捉え、インドネシアでNo.1の日本語教育を目指して取り組んでいます。



01 名門大学との協定

日本語学科においては国内最古かつ最難関とされているバンドン市のパジャジャラン国立大学と提携をしています。言語学部と連携しながら、日本語教育の改善に日々取り組んでいます。

02 ネイティブによる日本語教育

日本人講師を多く採用しており、コミュニケーション能力を身に着ける為の実践会話授業に重点を置いております。また語学だけではなく、報告・連絡・相談の徹底から日常の振る舞いまで、日本人が日本式で指導を行っております。

03 意欲高く生きた日本語を習得

弊社はモチベーションの向上を大事にしております。身体を動かしながら日本語を学ぶ「活動の時間」や、季節行事や日本文化について学ぶ「文化の時間」など、講師がバラエティ溢れるクラスを日々考案しています。日本への興味・関心を持ってもらうことで、日本語学習へのモチベーション向上を図っております。

建設業向けの特別体カトレーニング

▼特別メニュー例（毎日実施）

1ヶ月目 基礎トレーニング

- ①ストレッチ
- ②筋力トレーニング（各3set）
腹筋 20回、腕立て 20回
背筋 20回、スクワット 20回
プランク（4分間）
- ③スタミナトレーニング
ランニング 3 km（20分以内で完走）
- ④筋肉を伸縮し身体をほぐすストレッチ



2～3ヶ月目 アドバンストレーニング

- ①ストレッチ
- ②筋力トレーニング（各3set）
腹筋 25回、腕立て 25回
背筋 25回（+ 2kg 負荷）
スクワット 25回（+ 20kg 負荷）
プランク（4分間）
- ③20kgの重りを背負い30メートル走（3set）
- ④スタミナトレーニング
・ランニング 4 km（25分以内で完走）
- ⑤筋肉を伸縮し身体をほぐすストレッチ



4～5ヶ月目 追い込みトレーニング

- ①ストレッチ
- ②筋力トレーニング（各3set）
腹筋 30回、腕立て 30回
背筋 30回（+ 3kg 負荷）
スクワット 30回（+ 40kg 負荷）
プランク（4分間）
- ③20kgの重りを背負い30メートル走（5set）
- ④スタミナトレーニング
・ランニング 5 km（30分以内で完走）
- ⑤筋肉を伸縮し身体をほぐすストレッチ



